

ヘルスアセスメント特論 (高度実践)

[講義・実習] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
 幸村 近 (医技) [ckohmura@hoku-iryo-u.ac.jp]
 遠藤 輝夫 (医技) [endoht2019@hoku-iryo-u.ac.jp]
 高橋 祐司 (医技) [yuji-t@hoku-iryo-u.ac.jp]
 小野 誠司 (医技) [seijiono@hoku-iryo-u.ac.jp]
 沖野 久美子 (医技) [kokino@hoku-iryo-u.ac.jp]
 松尾 淳司 (医技) [matsuo@hoku-iryo-u.ac.jp]
 山崎 智拡 (医技) [yamazakit@hoku-iryo-u.ac.jp]
 石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高度実践看護師として実践に不可欠である、エビデンスに基づいた鑑別診断の能力を習得するために、臨床診断学、臨床疫学、症候学、臨床検査学の知識・技術を講義・演習を通して習得する。

【学修目標】

1. 診療のプロセスが理解できる。
2. 臨床推論について理解できる。
3. 臨床疫学を踏まえたエビデンスに基づいた医療の提供について理解できる。
4. 症状・症候別にヘルスアセスメントを行い鑑別診断につなげることができる。
5. 臨床検査について理解することができ、一部実施することができる。
6. 画像検査の理論について理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 臨床推論・診断学概論	【講義】 ・オリエンテーション：目的・目標の確認など ・診断学概論	塚本
2	診療のプロセス	【Web-learning】(60分) 臨床推論の進め方と診療のプロセスについて学ぶ 指定の映像コンテンツを視聴する。 課題：診療のプロセスに関連したレポート(30分)	塚本 石角
3) 4	症候から診断へ；臨床推論の理論と演習	【演習】 ・Case Based Learning	塚本 石角
5) 6	臨床検査：検体検査	【講義】 臨床検査の基礎と実際について学修する ・血液・尿 その他	高橋 幸村
7	臨床検査：検体検査	【講義】 臨床検査の基礎と実際について学修する ・輸血検査	遠藤 幸村
8	臨床検査：生理機能検査	【講義】 臨床検査の基礎と実際について学修する ・心電図・ホルタ 心電図・CAVI/ABI	幸村
9	臨床検査：生理機能検査	【講義】 臨床検査の基礎と実際について学修する ・呼吸機能検査	沖野 幸村
10	臨床検査：生理機能検査	【講義】 臨床検査の基礎と実際について学修する ・脳波・神経生理	小野 幸村
11) 12	臨床検査：微生物学検査	【演習】 ・微生物学検査の目的を理解する。 ・実際にグラム染色及び多剤耐性検査を演習する	松尾 山崎 塚本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	画像検査の理論と演習	【演習】 ・超音波検査の基礎的知識と技術を学修する	沖野 幸村
14) 15	画像検査の理論と演習	【Web-learning】(60分×3) 下記の内容に関する指定の映像コンテンツを視聴する 放射線の影響 / 単純エックス線検査 / CT・MRI / その他 の画像検査 上記の内容に関するPost-test (30分×3)	塚本 石角

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験100%

【教科書】

特に指定はしない

【参考書】

随時提示するが、以下に一部紹介する。

1. 医療情報科学研究所著(2010). 診察と手技がみえる vol.2, メディックメディア.
2. デヴィッド サイメル、ドルモンド レニー(著)、竹本毅(訳)、(2010). JAMA版 論理的診察の技術-エビデンスに基づく診断のノウハウ, 日経メディカル.

【学修の準備】

授業内容に合わせて事前に予習をしておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。